

令和6年2月5日

福生市長
加藤 育男 様

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査委員

山本 忠

副代表監査委員

下條 かなま

豊嶋 栄

清水 大嘉

小澤 はる奈

環境監査等報告書

1. 日時

令和6年2月1日(木)・5日(月)

2. 対象

環境監査 契約管財課、リサイクルセンター、福祉センター、防災食育センター、市民会館、福生第六小学校

優良取組選定 契約管財課、リサイクルセンター、福祉センター、田園児童館・会館、防災食育センター、白梅会館、武蔵野台図書館、福生第二小学校、福生第四小学校、福生第一中学校

環境推進委員会 (市長・副市長・教育長及び部長・参事(書))、事務局

※1 全実行部門に対し事前書面調査および所属職員を対象とするアンケート形式の意識調査を実施し、監査対象を選定した。

※2 (書)は書面監査対象

3. 監査等結果集計

	F-e 取組項目	高評価	改善 要望	優良 取組
1	各職場において環境配慮行動を実践する			
	■紙の使用量を削減する			
	■ごみの排出量を削減する			2
	■電気の使用量を削減する			2
	■水の使用量を削減する			
	■物品を購入する際に留意する			
2	公用自転車を活用し、公用車の利用による環境への影響を抑制する			
3	通勤手段が環境へ及ぼす影響を抑制する			
4	福生市の環境面での基本方針である「福生市環境基本計画」や「地球温暖化対策実行計画」を認識する			
5	日常の事務活動によって地域の環境や地球環境にどのような影響を及ぼしているのかを認識・理解する			
6	福生市が取り組む数値目標について認識・理解する			
7	市議会議員、非常勤職員、庁舎・施設に常駐・常在する事業者等に対し、環境配慮の要請を行う			
8	庁舎・施設に出入りする事業者等に対し、環境配慮の要請を行う			
9	公共施設の利用者に対し、環境配慮の要請を行う			2
10	公共工事等の際に環境配慮に取り組むとともに、調達時にはエネルギー消費量や排出係数が低減する手法を検討する			
11	環境に関連する計画について内容（策定中の場合は途中経過）を公開・提供する			
12	計画の策定や改定の際には環境配慮を土台とし、立案・策定段階から市民参加の機会を設ける（他主体と連携した取組）			3
13	環境を保全・改善する施策・事業（公園・緑地・水辺整備等）について、その内容を公開・提供する（環境に関する学習・情報発信の取組）			7
14	環境影響事業について、環境に影響を与える内容（騒音・振動、廃棄物の排出、自然の減少など）を公開・提供する			
15	施設のエネルギーを管理する部署・施設では、運用改善手法を最大限に実施し、その結果を検証する			
合 計				16

4. 総合所見

福生市環境マネジメントシステム (F-e) の令和 5 年度取組状況監査を実施しました。第 4 次福生市地球温暖化対策実行計画 (以降、「4 次計画」という。) に基づく温室効果ガス排出量削減に関する具体的取組と、これに関わるマネジメントの状況を点検する「環境監査」と、優れた環境配慮活動などを抽出する「優良取組選定」の 2 つに分けて実施しました。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、令和 2 年度から実施できていなかった現場監査等を復活させ、リモート形式と併用して実施しました。

その結果と所見は以下のとおりです。

(1) 環境監査

環境監査では、令和 5 年度が 4 次計画の最終年度であることから、計画に基づく施設ごとの目標達成状況と課題を把握することを中心に、対象施設の取組を確認しました。

トップダウンによるマネジメントについては、三役と部長職が提示した方針をさらに具体化し、各実行部門の特性を踏まえて取り組むように意識していることがうかがえました。

計画目標の達成については、多くの施設で目標達成は厳しいという見通しが示されました。コロナ禍から回復し施設の稼働状況が通常化する中、換気と空調の同時実施、夏季の猛暑によるエネルギー需要の高まりなどが影響しているようです。一方で、施設の改修や設備更新、運用改善の具体的な効果も認められました。

- ・ 基幹設備改良工事、空調更新、照明 LED 化により電気使用量を削減した (リサイクルセンター)
- ・ 蓄熱槽の設定温度緩和、空調運転時間の規制により都市ガス使用量を削減した (市民会館)
- ・ 空調設備更新 (個別空調の導入) により電気使用量を削減した (福生第六小学校)

これらは、高評価の取組として選定はしなかったものの、エネルギー効率化の参考事例として、庁内で情報共有していただきたいと思います。

新たな動きとして、本庁舎では ESCO 事業の実施に向けた手続きが進んでおり、コストを抑えた省エネ化と老朽化対策の手法として期待が持てます。令和 6 年度からの第 5 次福生市地球温暖化対策実行計画 (以降、「第 5 次計画」という。) では、エネルギー機器の計画的な更新と再生可能エネルギーの活用がポイントになります。各実行部門が脱炭素に向けた動きの当事者であることを認識し、前例にとらわれない情報収集と対策を積極的に進める実施期間となることを期待します。

(2) 優良取組選定

「特に高く評価したい点」として抽出された取組は 16 件でした。

評価件数が最も多かったのは、F-e 取組項目の No. 13「環境を保全・改善する施策・事業 (公園・緑地・水辺整備等) について、その内容を公開・提供する」の 7 件でしたが、その内容は環境学習に関連する取組が中心でした。

- ・ 小学生から大人まで見学を受け入れ、見学者が深く学べる情報提供をしている (リサイクルセンター)
 - ・ 児童館まつりにて SDGs をテーマにした掲示物を掲出した (田園児童館)
 - ・ 廃材を利用したおもちゃづくりに取り組んでいる (田園児童館)
 - ・ 国産食材活用の一環で米粉パンを使った福生ドッグを提供した (防災食育センター)
 - ・ 野菜や魚の模型などを活用し、健康的な食事や食品ロス問題を学べる展示をしている (防災食育センター)
 - ・ 環境講座を毎年実施し、市内の環境団体が講師として協力している (白梅会館)
 - ・ 児童が SDGs をテーマにしたかるたを製作し、親子で体験した (福生第二小学校)
- 各施設の特性を活かし、環境に関する気づきや学びを得られる工夫がなされていました。

また、他の施設・主体と連携した取組として、3 件を F-e 取組項目の No. 12「計画の策定や改定の際には環境配慮を土台とし、立案・策定段階から市民参加の機会を設ける」に分類しました。

- ・ ボランティアの協力を得て、切手・ベルマーク・インクカートリッジの回収を実施して

いる（福祉センター）

- ・ PTA が呼びかけて地域住民とともにペットボトルキャップ回収運動を実施している（福生第二小学校）
- ・ 近隣でペットボトルキャップを回収している他校と連携し、収集を効率化している（福生第四小学校）

今回の優良取組選定では、事務事業により生じる環境負荷を低減する取組はもとより、市有施設から市民に対して情報発信をすることや、利用者とのコミュニケーションを重視した取組も多く抽出されました。様々な場で環境について知り、学べる機会があることは、市民・事業者を意識づけをし、行動変容を促すことにつながる、大変望ましい状況であると高く評価します。各施設の取組がつながることで、発展・継続も期待できます。

福生市環境基本計画が改定され、市の環境施策が新たな歩み始めるタイミングに当たります。意識や行動が変わる市民が一人でも多く生まれるよう、あらゆる場面で環境に関する情報発信・コミュニケーションが行われるような市有施設であることを願います。

（3）三役監査

○市長

4次計画の目標達成状況としては、今年度の猛暑などもあり、利用者の安全確保のため空調設備の稼働を優先したことなどにより、達成は厳しいとの見通しが示されました。全体的な状況としては市長のご説明のとおりですが、監査では、様々な工夫をした結果目標達成が可能であるという施設もありました。こうした施設の取組についても目を向けて、成功事例を共有し展開していただけると良いと思います。また監査等では、DXによる電子化がさらに浸透してきていることが各部署で確認できるなど、市長の方針を受けて各施設でそれぞれの特性に応じて工夫した取組が進展していることが感じられました。また、食品廃棄物によるバイオガス発電が検討される（防災食育センター）など、新たな試みも進んでいることが確認できました。

環境政策全般に対しても、市長の意識が高いこと、「オール福生で」との視点に立って考えていらっしゃることが良く分かりました。10年以上前から実施されている涼み処・温み処の取組も評価できます。実施施設一覧を発信したり、利用者しやすい施設となる工夫を施したりするなど、さらなる活用に向けた動きを期待したいと思います。

○副市長

所管施設における状況としては、令和4年度より排出量は減少しているものの、4次計画の目標値に対しては11.1%の超過となっていること、感染症対策や猛暑の影響で、思うように削減が進まなかったという総括をいただきました。今後の取組としては、劇的な効果はなくとも地道に取り組むという方針ながら、庁舎のESCO事業や、市有施設で使用する電力の契約において再生可能エネルギー比率を仕様で定めるといった、一歩踏み込んだ動きが取られたことも紹介されました。さらに、市が補助を行っている民営施設についても再生可能エネルギーの利用を促し、行政だけでなく市内全体で環境配慮行動に取り組んでいこうとする姿勢も確認することができました。継続した取組だけでなく、様々な視点で環境配慮行動に取り組んでいただいていることは評価できると思います。

監査等では各実行部門が方針を徹底して取り組んでいることが確認できましたので、引き続き全庁一丸となってチームとして取組を進めていただきたいと思います。

○教育長

教育委員会所管施設では、4次計画の目標値に対しては2.2%の超過であり目標達成は難しいとの見方が示された一方、自動車由来に限れば公用車の電動化が進んだことにより目標値を11%下回っているという成果も紹介されました。今後も学校施設の空調改良工事、校庭照明のLED化等が計画されており、高効率な設備に更新されることによる排出削減を期待したいと思います。

中央図書館で西多摩衛生組合が提供する再生可能エネルギーを活用したモバイルバッテリー貸与を始めており、電子図書館も開始するなど、目新しい取組も展開されていることが分かりました。モバイルバッテリー貸与については、可能であれば利用ルールを徹底した上で他施設でも実施していただけると良いと思います。

環境問題に対する意識の醸成、主体的に環境配慮行動を実践する担い手づくりを強く意識されており、今年度も教育部共通ポスターを作成し、児童生徒や施設利用者に環境配慮行動を促すきっかけづくりを積極的に行っているとのことでしたが、現場を訪問した際等でもその様子を確認することができました。教育委員会の特性を生かして、施設管理の面と人材育成等の面の両方から脱炭素に向けて取り組んでいただきたいと思います。そのために、各学校で校長・副校長の異動時には引き継ぎ項目として F-e に関する事項も含め、着実に取組が継続するようにしていただけると良いと思います。

(4) 事務局監査

F-e に関する会議等の開催状況や庁内での研修・情報共有に関する状況、市民等への波及に関する状況を中心に、設定した部門別目標に向けた具体的な仕組みや働きかけについてヒアリングを実施しました。ヒアリングの結果、F-e の推進に関する事務局業務が適切に実施されていることを確認しました。

市有施設の温室効果ガス削減については、中央図書館の全館リニューアルにあわせて空調の高効率化、照明の LED 化や節水トイレ導入が実現したことをはじめ、複数の施設でハード面での改善があったことが報告されました。施設・部署単位でマネジメントを強化することを意図してここ数年で様々な試みが行われてきましたが、トップダウンの方針に基づく取組の浸透が現場監査でも確認できた一方、「目標値」と「想定値」に分けた目標管理については課題の残る結果となりました。5次計画の進捗管理に、これまでの成果と課題を活かしていただきたいと思います。

環境に関する情報発信の面では、動画による情報発信に注力されたことがうかがえました。市内の環境団体が連携して情報発信していこうとする動きもあり、市と市民団体の協働に留まらず、市民団体間の協働が進んでいることも、これまでの市民協働の成果として高く評価したいと思います。ECO FRIENDLY 認証店を中心とする事業者の取組も多様性が高まっており、市民や事業者における取組の一層の活発化が期待できます。

今年度は4年ぶりに現場監査等を実施することができ、監査チームとしては現場を見ながらコミュニケーションを取ることの重要性を強く感じました。ポイントが絞られたことで、監査等のやり取りも進めやすく、有意義なやりとりをすることができました。監査チームの意見をよく取り入れ、情報発信に留意していただけたことも良かったと思います。監査チームと事務局がアイデアを出し合って作り上げてきた市民参加型の点検システムが、「エコシティふっさ」の実現を支える一翼を担えるよう、今後も改善を続けていければと思います。

5. 項目ごとの所見

「特に高く評価したい点」として監査班が選定した取組を掲載します。

(1) 環境監査

該当なし

(2) 優良取組選定

	F-e 取組項目
1	各職場において環境配慮行動を実践する ■ごみの排出量を削減する

契約管財課
(担当：3班)

【実施内容】各フロアに資源回収ボックスを設置したり、ごみ回収ボックスに分別ラベルを貼り付けるなどの措置を取り、職員が分別しやすい環境づくりをしました。

【評価のポイント】庁舎内では職員向けの啓発を継続して実施しており、特に資源回収に関しては、毎回相当量の資源を確保できているため、職員の意識は引き続き高いことが確認できました。

福生第四小学校
(担当：1班)

【実施内容】従来、燃やせるごみとして廃棄していた細かい紙を、資源ごみ袋を設置してそこへ集め、資源化を徹底的に行うようにしました。教室では、教育部の統一ポスターに児童が考えた取組宣言（ごみの削減、食品ロス削減など）を記入して掲示していました。

【評価のポイント】教職員と児童と一緒に、資源ごみ袋の設置・活用を通して、細かい紙の資源化に取り組んでいます。この行動は統一ポスターの宣言を具体的に実行するもので、啓発から実践が繋がっています。ポスターを活用した啓発・実践の流れは、他校でも参考になると思います。

	F-e 取組項目
1	各職場において環境配慮行動を実践する ■電気の使用量を削減する

白梅会館
(担当：2班)

【実施内容】各部屋のエアコンは令和2年度から個別空調になりましたが、リモコンを事務室で管理しており、エアコンを使うかどうかなど職員と利用者がコミュニケーションをとりながら運用しています。

【評価のポイント】空調機器の更新後も、職員と利用者が直接コミュニケーションをとることで空調の適正な利用を促しています。

福祉センター
(担当：3班)

【実施内容】館内の各所にCO2センサーを設置し、無駄のない効率的な換気を行えるようにしています。

【評価のポイント】様々な感染症が懸念される中、高齢の利用者が多い施設の利用状況に配慮した換気を行うことで、効率的な空調運用と施設の安全安心の確保に向けた取組を行っていることが確認できました。

	F-e 取組項目
9	公共施設の利用者に対し、環境配慮の要請を行う

白梅会館
(担当：2班)

【実施内容】普段会館を利用している35サークルの代表に集まってもらう会議の場で、F-eの取組についての協力を要請しています。施設内に環境配慮に関するポスター(教育部統一様式)を3年分掲示して、啓発を図っています。統一様式のポスターをアレンジし、オリジナルの文言で作成しています。

【評価のポイント】「気候変動について市民が自分事として捉える」ための働きかけを重視し、様々な機会をとらえて利用者に伝達していることがうかがえました。多様な市民が利用する施設として、望ましい形で取り組んでいると感じます。

武蔵野台図書館
(担当：1班)

【実施内容】地域の児童が自作した環境啓発ポスターを図書館に持参し、掲示を依頼してきました。図書館としてその心に深い感動を覚え、利用者への啓発のために館内にポスターを掲示しました。

【評価のポイント】児童の自主的な環境行動をしっかり受け止め、図書館として周知すべきものと判断し、施設内にポスターを掲示した点を評価します。地域と図書館の暖かい交流がうかがえました。

	F-e 取組項目
12	計画の策定や改定の際には環境配慮を土台とし、立案・策定段階から市民参加の機会を設ける(他主体と連携した取組)

福生第二小学校
(担当：3班)

【実施内容】PTA主催により、ペットボトルのキャップの回収を行い、これを寄付することで、発展途上国への医療支援などに繋げています。

【評価のポイント】学校・児童が保護者や地域等と連携して取り組むことにより、リサイクルの促進とごみ減量化にあわせて、国際貢献活動を行っています。

福生第四小学校
(担当：1班)

【実施内容】ペットボトルキャップを集めてリサイクル業者に提供し、ワクチンにする活動を実施しています。業者が遠くから回収に来るため、近隣の一小と六小にも声をかけて、まとめて回収してもらうように工夫しています。

【評価のポイント】ペットボトルキャップ回収を児童・保護者・地域の参加で継続して実施していることはもちろん、近隣の小学校にも声をかけ連携して取り組んでいることがとても良いと思います。

福祉センター
(担当：3班)

【実施内容】各種団体と協働した切手、ベルマーク、インクカートリッジの回収・リサイクル活動を通じて、ごみ減量化と福祉向上に取り組んでいます。

【評価のポイント】ごみの減量化に向けた取組を行うとともに、障害者等への支援にも繋げており、環境・社会の統合的な取組を多くのボランティアや団体等と協働で継続している点が良いと思います。

	F-e 取組項目
13	環境を保全・改善する施策・事業（公園・緑地・水辺整備等）について、その内容を公開・提供する（環境に関する学習・情報発信の取組）

- 福生第二小学校
（担当：3班）
- 【実施内容】担任教師の提案により、4年生総合学習の調べ学習の一環として「SDGs かるた」を作成し、学校公開日に親子で遊びました。
【評価のポイント】かるた作りを通じてSDGsを学び、保護者とともに遊ぶことで、児童のみならず大人にも啓発をすることができました。
- 白梅会館
（担当：2班）
- 【実施内容】熊川分水や木育などをテーマにした各種環境講座を市民向けに実施しており、市内の環境団体（自然環境アカデミー、福生災害ボランティアチェーンソー隊等）を講師として迎えるなどの連携も図っています。
【評価のポイント】毎年のスケジュールとして環境講座が組み込まれ、計画的に実施されています。市内の環境団体と連携することで、内容も充実したものとなっています。
- リサイクルセンター
（担当：2班）
- 【実施内容】小学4年生を対象に、ごみリサイクルについて学習するため社会科見学を実施しています。小学生だけでなく、市民の見学や中学生の職場体験にも対応しています。
【評価のポイント】執務室内に掲示されている見学後の感想（感謝の手紙）では、見学を通して児童生徒が学んだ具体的な内容（ペットボトルが作業員の制服にリサイクルされていること等）も記述されており、3Rの重要な要素をしっかりと伝達している様子が見受けられました。
- 防災食育センター
（担当：1班）
- 【実施内容】福生第一小学校と防災食育センターの栄養士が協力し、米粉パン等の国産食材を使った福生ドッグを検討し、提供したところ大変好評でした（国産食材を活用した食育支援事業）。この福生ドッグは、大きな活用が期待できます。
【評価のポイント】この取組は東京都の補助金を活用し、これまで2年間実施しています。予算的な問題はありますが、米粉パン等の国産食材を活用した取組については、他のイベントでも水平展開してPRできれば良いと思います。
- 防災食育センター
（担当：1班）
- 【実施内容】センター内には、食育に関する資料として野菜の模型（摂取量の目安）や魚の部位などが展示されています。また、小学3年生の社会科見学も積極的に受け入れているほか、栄養教諭が積極的に学校を訪問し食育の推進に努めています。
【評価のポイント】野菜や魚の模型など、見て楽しめて理解しやすい数多くの展示の工夫が見られました。食品ロスをはじめとした食育に関してわかりやすく展示されており、施設見学や学校訪問もあわせて、食品ロス削減の意識啓発に大いに貢献できると思います。
- 田園児童館・会館
（担当：3班）
- 【実施内容】児童館まつりに向けて子どもにも分かり易いSDGsの掲示物を作成し館内に掲示しました。あわせて子ども達が自ら実施した環境配慮行動を貼り出す仕組みを取り入れました。
【評価のポイント】掲示内容は幅広い年齢層にも理解してもらえる内容となっていました。子ども達が自ら考え行った取組を掲出することで、児童の保護者等への啓発も兼ねています。

田園児童館・会館 【実施内容】 廃材を利用して手軽におもちゃづくりが体験できる取組
(担当：3班) を行っており、環境フェスティバルではリサイクル工作ブースを出展
しました。
【評価のポイント】 楽しみながら環境配慮について学ぶ機会を提供す
ることで、子どもたちの意識醸成を図っています。環境フェスティバル
で出展したことで、普段は児童館を利用しない市民・子どもにも幅広く
PR できたと思います。

※「特に高く評価したい点」として選定した取組以外にも、監査班から所見を付しています。個
別にフィードバックする所見票で確認してください。